

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 3 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200734		
法人名	株式会社 ケア21		
事業所名	たのしい家祇園山本		
所在地	広島市安佐南区山本4丁目12-56-3 TEL(082)-832-3221		
自己評価作成日	平成 27 年 3 月 15 日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200734-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成27年3月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

両ユニットの交流（合同レク・合同食事会）

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホームたのしい家祇園山本は、開設して約1年が経過したばかりの施設で、近隣に小学校・幼稚園・住宅街があり畑も点在している所に位置している。自分らしさのある生活の維持買物・洗濯・食事作りで残存能力を積極的に活用し、家庭的な環境の中で助け合い自立に向けて支援している。定期的に理学療法士が訪問し、利用者の身体状況を把握し、普段から職員が運動療法生活リハビリを実践している。地域との連携で近隣の4つのグループホーム・他8事業所と共同で夏祭りを行い、事業所間で交流が行われ、ご近所の方も参加され交流している。事業所は2ユニットあり行き来は自由で、合同での食事会も開かれ利用者同士の交流もしている。職員のスキルアップとリーダー層の育成に力を入れており、法人や外部で行う研修に参加して研修報告書にまとめ、職員会議の中で伝達研修を行いより良い支援に繋げるように努力している。

たのしい家祇園山本

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	散歩等で挨拶したり、近くのパン屋さんへの買い物に行くようしています。 施設理念「お互い笑う事の両ユニットをオープンにして情報共有する事」 御利用者・職員と共に笑い合える関係・環境を創っていく。	施設理念「御利用者様の尊厳を尊重し、自分らしさがある生活の継続を当ホームはもとより御家族様、地域と共に支援する」「残された能力を最大限に生かせる家庭的な環境、なじみのある人間関係の中、共同生活を大切にし、出来る喜びや達成感のある日常生活を目標とする。」を玄関入口に掲げている。施設理念・企業理念を朝礼で職員一人ずつ順番に1項目を読み上げて実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近く幼稚園の運動会見学や地域の方からの紹介により夏祭りに舞踊ショーをしていただきました。	近隣のグループホーム・他事業所と共同で夏祭りを行い、ご近所の方が参加され交流している。又、お好み焼き屋さんと交流があり、お好み焼きを出前して頂いたり、劇団を紹介して頂きその劇団の方々の訪問に利用者の方々は喜ばれている。地域の生き生きサロンに出かけリズム体操でリハビリしている。幼稚園の運動会にも出かけ交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	集会所でのいきいきサロンに参加させて頂き、交流しています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2月地域包括の方、民生委員、社協の方、家族様の参加もあり運営推進委員会を行い意見交換ができました。	運営推進会議は2ヶ月に1回行われ、民生委員・社協・地域包括支援センター職員・薬局(薬剤師)・本部・管理者・計画作成担当者が出席し、入居者状況・事故・ヒヤリハット報告・行事予定等を報告したり、意見の交換を行ないサービス向上に活かしている。	運営推進会議に多くの方に参加して頂く為に、日程及び曜日調整の検討に入っておられ、調整が整い多くの方に参加して頂ける事を期待いたします。	
5	4	○市町との連携 市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	3月に実地指導ありました。	報告・相談時や事務手続き等の機会や地域介護の研修会・勉強会時に区担当者とのコミュニケーションを図り、良好な協力関係を築くように取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	本社の研修、外部研修参加できるようにしています。	法人全体で身体拘束に関するマニュアルが整備され、定期的な法人研修や事業所内研修により、管理者及び全職員が身体拘束の内容とその弊害を認識し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	本社の研修、外部研修参加できるようにしています。			

たのしい家祇園山本

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	本社の研修、外部研修参加できるようにしています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重項を取り交わし説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営規定等閲覧しております。	利用者とは日頃の関わりの中で、家族については面会時や運営推進会議等で意見・要望を聞きとり、その意見や要望を職員間で検討し運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	面談を行い現場の様子把握に努められています。	全体会議や随時・毎月1回のミーティング等で意見・提案を聞いている。又、3ヶ月・半年・1年のフォローアップ個人面談で意見・提案を聞き取り、会議で検討し運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	現場第一主義の理念のもと配慮されています。 (だれ伸び制度・ほめカード・コーチング研修)		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本社からメンタルヘルス研修、接遇マナー研修、コーチング研修が受けれるよう計画されています。 年間計画に沿って認知症についても研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	グループホーム交流会に参加できるようにしています。 法人内の全国のグループホーム職員と合同会議で情報交換しサービスの質の向上に取り組んでいる。		

たのしい家 祇園山本

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	面談を行い、よく話を聞ける様にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族様が話しやすい雰囲気で行われるよう配慮しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人をよく知れるよう聞き取り・面談しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一緒に季節のレクを楽しんだり、一緒に家族を行い支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様面会時も居室でひとりが過ごせるよう配慮しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	いつでも面会にきて頂けるようにしています。	近隣のお友達や元職場の知人が面会に来られ、リビングや居室で事業所より提供されたお茶を飲みながら会話を楽しまれている。家族の協力を得て、墓参りや馴染みの美容院に出かけるなど、利用者がこれまで大切にしてきた関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ユニット内で仲良く過ごせるよう声掛けしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方の家族様より、情報を頂き対応しております。		

たのしい家 祇園山本

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人お一人の好きな事・喜んで頂ける事を見つけられるよう関わりを持つようになっています。	利用者との会話や生活の中から、本人の思いや希望を見出す努力や、思いや意向の把握が難しい利用者については日頃の関わりの中から、表情や仕草などから汲み取るようになっている。又、生活歴や利用者情報の振り返りや家族からの情報も得て、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	いつでも経歴など見れるようにしており、家族様からの情報共有に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	お一人お一人何が出来るか職員間での毎月のカンファをして日々のケアにつながるようになっています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月末には家族様へのお手紙を書き、モニタリング形式の書式にて報告しています。	利用者や家族には、日頃から関わりを持つ中で思いや意向を聞き取り、看護師・医師の意見を含め関係する担当職員・他全職員で毎月カンファレンスで意見交換を行い、現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	きめ細やかな申し送り、記録の取り方など会議で話し合うようになっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人家族の要望に耳を傾けるようになっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	もう少し地域に出れるよう支援します。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	受診後の様子、結果を随時報告し適切な対応が出来るようになっています。	入居時に利用者や家族の希望を尊重し、医療機関の選択をして頂いている。希望がなければ事業所の医療機関に変更している。協力医の看護師は定期巡回として週1回、病状が悪化した場合は週2回の訪問看護が対応している。、専門医(眼科・歯科)と連携してアドバイスを頂きお一人おひとりのケアを充実し、適切な医療が受けられるように支援している。医療機関により定期的に往診が行われている。	

たのしい家 祇園山本

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師のオンコール対応により、連絡し情報共有できるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後、お見舞いに行き、様子を看護師の方に随時聞くようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	開設以来、看取りをしていますが、看取り前の看護師、ケアマネ、職員参加の会議をしました。	入居時に重度化対応・終末期ケア対応に係る指針について説明している。まだ看取りについて実績はないが、看取りが必要となった場合は、看取り同意書を取り交わし利用者・家族との意思統一を図るようにしている。訪問看護と協力医療機関と連携をとり看取りを行う体制が出来ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救急搬送時の対応、連絡網整備しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	8月には夜間想定での避難訓練、3月には消防立会いの避難訓練を実施しました。	年2回の避難訓練が行われていて1回は消防署立ち合いで行われている。訓練は、夜間想定・日中避難訓練・消火器の使い方等が利用者参加で行われている。運営推進会議で防災訓練への協力を要請されるなど、継続的な取り組みが行なわれている。	災害発生は予測不可能な事と職員だけの避難誘導では限界があるので、地域住民の災害時協力者の確保に向けた継続的な取り組みを期待します。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	トイレの声掛けなどは、耳元で声掛けしたり、入浴の際は鍵を掛け対応しています。	個々の生活歴や御家族からの情報を基に、好きな事、嫌いな事、介護に対する要望・願いなどを把握し、利用者の人格を尊重した対応、個人情報の責任ある取扱い、排泄や入浴時の羞恥心に対する配慮等きめ細かな対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	買い物に行きたいなどなるべく意向に沿えるようにし、希望がかなえられるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人のペースに合わせてるようにしています。家族様より、眠剤使用しない意向に沿い夜間も対応しています。		

たのしい家 祇園山本

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	夜、更衣された物・パジャマ等は毎日洗濯し、清潔に配慮しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る方には盛り付けなどして頂いたり、味噌汁と一緒に作ったりしています。食器拭きもされています。	スタッフと一緒に毎日、個々の力に合わせて野菜の皮むきや盛り付けをし後片付けもしている。希望に応じて治療食・特別食の提供をしている。時折、ユニット合同の食事会を実施している。職員は利用者と同じテーブルを囲みながら食事を一緒に摂り、会話しながら楽しく食事が出来るように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量のチェック・水分摂取量のチェックを行い記録しています。必ず送りもしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食事前には、口腔体操をしています。食後には口腔ケア出来るよう配慮しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	食前・食後のトイレ誘導をおこなっています。なるべくトイレで排泄できるよう早めの対応しています。	排泄チェック表を利用し、利用者お一人おひとりのタイミングに合わせてトイレ誘導し、なるべくトイレでの排泄を促している。又、夜間は、紙パンツの利用やポータブルトイレの使用で不安なく過ごせるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	ヨーグルト等がお好きな方は、食べて頂けるようにしています。水分摂取量を記録し予防しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	お一人お一人、入浴の確認をとり、希望を聞き対応しています。	週2回から3回の入浴を行っている。排泄の失敗等の対応でシャワー浴・清拭・足浴等を行い清潔保持している。入浴を拒否される方には、根気よく誘導したり、時間を空けたり、職員を変えたりと工夫しながら個々に合った入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	窓際での日向ぼっこされゆっくりされたり、昼食後、横になって頂けるよう声掛けしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	変化等、送りの徹底に努めています。看護師オンコール対応にて連絡出来るようにしています。		

たのしい家 祇園山本

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ビールを飲んで頂ける利用者の方には、買い置きをしており、夕食時、毎月の肉の日に飲んで頂いたりしています。			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎朝、施設周りを散歩に出て頂いています。夜間、ミュージカルを見に行き外食して帰りました。誕生日には好きな物を食べに出かけたりしています。	近所のスーパーの側にある桜の木の花見に出かけ、近隣の人と挨拶をしている。夏祭り・秋祭り・遠足・文化祭・紅葉狩り等の行事が行われている。野菜の苗を植えて水やりや手入れをし、さつまいも・高菜・ネギ・ハーブ・その葉等を育て収穫し、焼き芋や食材として食卓に乗せて、利用者皆さんと職員で食べている。近隣の大型ショッピングセンターへ外食に出かけたり、ミュージカルの鑑賞にも出かけている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一緒に買い物をする時は、財布からご自分で支払が出来るよう対応しています。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人希望ある時、対応しています。			
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	大きな壁面には毎月季節・行事を感じて頂けるよう折り紙・絵などを飾っています。トイレは臭いに配慮し、適時掃除を行っています。フローアール掃除の際は消毒液・お湯などを使っている。	リビング兼食堂は窓が大きいので採光が良く大変明るい。近隣の畑の作物も良く見える。感染予防として加湿器の稼働やタオルを室内に干すなど、湿度・温度の管理をして予防している。季節に関係ある掲示物を毎月利用者職員と一緒に折り紙等を使って作成している。毎朝室内を職員が清掃し利用者も手伝い清潔である。リビング兼食堂から見える所に季節の花をたくさん植えられ、室内には観葉植物が置かれ季節感が感じられ居心地よく過ごせるように工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合った方同士で食事できるように食席の配慮をしている。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた椅子・タンスなどを持って来ていただいている。居室入口にはお好きな物・季節感のあるものを飾っている。	利用者は自宅からテーブル・椅子・TV・等使い慣れた馴染みの物品を持ち込んだり、人形・家族写真等を飾っており、本人が居心地よく過ごせるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	車椅子の方には座って出来る食器拭き・ぬり絵・ちぎり絵などが出来るようにしている。自立度の高い方は洗濯干し・洗濯たたみなど出来るように配慮している。			

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 たのしい家祇園山本

作成日 平成 27 年 3 月 31 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	64	地域との交流が少ない	地域にもっと出て行く	集会所でのいきいきサロンに参加してみる	3ヶ月
2	64	運営推進委員会の参加者が少ない(土曜日にしてきた為)	参加してよかったと思える会にしていきたい	2月は平日にすると、地域の方の参加が増えたので引き続き行う。	6か月
3	49	外出が買い物・散歩になっている	外出先を増やしていく	外食が出来る利用者の方と誕生日に出かけて好きな物を食べて頂く	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。